



DISCUSSION STRATEGIES

利用の手引き

日本語版



渡辺 雅仁

Discussion Strategies 利用の手引き

Introduction(はじめに)

本書に収録されている活動は、同じ著者による、中級レベルの学習者を対象に方略的な会話スキルを解説した *Conversation Strategies* を基礎にして発展させたものです。しかし、*Conversation Strategies* を使わなくても、討論のスキルを伸ばすという目的は達成できるように編集されています。本書 *Discussion Strategies* によって、ESOL (English for Speakers of Other Languages, 英語を母語としない人のための英語) を学ぶ中級上位から上級の学習者は、高レベルのコミュニケーションによる相互交流スキルが身につきます。

学習者は最初の unit (ユニット) から少しずつステップアップしながら、討論を前に進め、討論に参加できるよう、さまざまな discussion strategy (討論に必要な方略) を広い範囲にわたって練習します。本書では、次のような討論に必要な技術が学べるよう、焦点を絞りこんだ練習を行います。

<ul style="list-style-type: none">• using rejoinders• asking follow-up questions• seeking and giving clarification • using comprehension checks• answering with details• soliciting more details from others• interrupting others during a discussion• recounting something they have heard• volunteering an answer• helping the leader of a discussion• expressing an opinion• referring to a source when giving an opinion• leading a discussion themselves	<ul style="list-style-type: none">• 短い応答を使う• 質問の答えに質問する• 自分の理解が正しいか質問したり、よく理解していない相手にわかるように説明したりする• 理解できているかを確認する• より詳しく答える• 周りの人からより詳しく説明してもらう• 討論の場で人の話をさえぎる• 人から聞いたことを詳しく述べる• 進んで質問に答える• 討論のリーダーを助ける• 意見を述べる• 他人の発言に言及して意見を述べる• 自分たちで討論をリードする
---	--

どの unit もそれ以前に登場し練習した strategy (方略) に基づき、学習済みの strategy を再利用します。このため、授業は本書で示された順番に沿って進めてください。最終 unit まで到達する頃には、学んだすべての strategy を活用して、レベルの高いトピックについて、大きなグループやクラス全体で討論できるようになります。

本書では、ペアワークから初めて、最終的には大きなグループ討論へと討論形式が変化するように全体が構成されています。目次には、ペア、3人組、小グループ、大グループ / クラス全体のように討論形式が示されています。

Strategy を練習したり、討論を行ったりする際のトピックとして、新聞記事の要約を多くの unit で掲載しています。掲載されている記事は学習者が高い関心を示すものを選びました。掘り下げた背景知識がなければ理解できない記事はありませんので、学習者の持っている文化を問わず、討論のトピックとなります。

本書で掲載されている新聞記事はすべて本当にあった話です。

本書はどのようにしてできたか

ESOL (English for Speakers of Other Languages, 英語を母語としない人のための英語) の担当教師が「クラスの留学生はグループやクラス全体の討論で受け身になってしまう」とこぼすのを聞くことがあります。一方、留学生たちは「自分たちが黙っているのは何を話したらよいかわからないからです。人が聞いて面白そうなことは何も持っていません。本当は周りの人の言うことがよくわからないのですが、恥ずかしくて『分かりません』とは言えません」と言います。中には、「私の文化では、授業中ギブアンドテイクでことばを掛け合うことを良いことだと考えていません。『してはいけない』と禁じられることもあります」と言う人もいます。本書は留学生が少しずつ準備を積み重ね、最終的にことばを掛け合い討論でできるようデザインされています。

本書のアプローチと各 unit の配列

unit では学習者がすべきことを具体的に指示していますので、教師は実際に活動が始まった後に、活動がうまくいくようにサポートしたり、コーチとして指導したりしてください。互いに練習しあうことで、学習者はスキルを向上させ、より自信が持てるようになります。本書中の unit は比較的取り組みやすいものから始まりますが、最終的には大きなグループでの討論をリードしたり参加したりできるように配置されています。unit はそれ以前の unit での学習を前提としているので、本書で指定されている順序で学習を進めてください。

unit の討論形式は、ペアから始まり 3 人組を経て最後はクラス全体になります。このためにも、指定された順序で学習を進めてください。

クラスの数によっては単純にペアや 3 人組にできない場合には、2 人の学習者をペアにして、ともに Student A の役割を与えます。例えば、20 名のクラスで 3 人組を作る場合には、3 人組は 6 つ作り、残りの 2 名を 1 人ずつ、すでに Student A に割り当てられた学習者と組み合わせます。

討論のグループを作る

さまざまな方法で 2 人、3 人、それ以上といったグループは構成できます。教師の中にはグループのメンバーが適切なものとなるよう、マッチメーカーとなるべきである、と考える人もいます。個性や文化的な背景がさまざまに混ざり合って実際のクラスはできています。学習として挑戦すべき内容と生徒がそれぞれ感じる居心地よさのバランスが適度に保てるよう、慎重に学習者をグループ分けします。極端に恥ずかしがり屋で発言の苦手な生徒の場合は、他の 2 人がいずれも言いたいことを言おうとするグループの中に入れていない方がよいでしょう。本書を用いた学習の開始時に、掲載されている活動が学習者に

とってこれまでにないものである場合には、それなりにグループのメンバー構成を考えます。最初に居心地のよいグループの中で活動できれば、すべての学習者が自信を持てるようになるまで、短時間で済むことでしょう。

反面、ランダムな組み合わせもそれなりに意義があります。活動を通じて、口数の少ない学習者が活発に討論に参加したり、ことばで他を圧倒して1人で討論を支配していた者が人の意見を聞くようになったりするからです。また、日々、グループを再構成することで、生徒がさまざまな個性や能力を持ったパートナーとことばを掛け合う状況が生まれ、これまで学習した多様な strategy (方略) を実践しなければならなくなるからです。本書を用いた授業が終わる頃には、学習者は、より外交的な者とも、より内向的な者とも、より流ちょうに発話できる者とも、そうではない者とも、ともに活動する体験を持つことでしょう。

最初の活動

最初の活動を行う Unit 1 では、もちろんそれ以降の unit でも同じですが、unit がどのように構成されているか、しっかりと理解させたいものです。そのために、Student A と Student B のペアを1組選び、教室を歩いてペアをいくつか訪問し、クラス全体に教師が手順を指示している際に、活動を実際にどう行うのかをモデルとして観察させます。

その際、Student A, Student B などのように、自分に与えられた役割にのみ集中させ、自分ではない、自分のパートナーの役割が記されたページは見まないよう指示します。このような「カンニング」をしては討論もうまく行きませんし、楽しみも少なくなってしまうです。

それでは具体的に p.1 Unit 1 を見ていきましょう。

p. 1

Unit 1 • Student A

Rejoinders

I see.
Oh, yeah?
Really?
That's great!
That's too bad.

Follow-up Questions

(Questions about an answer)
A: What did you do last night?
B: I watched a movie on TV.
A: (Rejoinder and Follow-up) I see.
What movie did you watch?

Format: Triads – Student B, page 67; Student C, page 133

冒頭にリストされている rejoinder (短い応答) と follow-up question (質問の答えへの質問) がここでの学習事項です。それぞれの具体的な例を確認します。

format は「討論形式」のことです。ここでは triad (3 人組を作ります。ページの最上部に Student A とあることから、この p. 1 から、Student A のパートの解説となっています。

Student B として指示されている p. 67 と Student C の p. 133 を開きます。

p. 67

Unit 1 • Student B

Rejoinders

I see.

Oh, yeah?

Really?

That's great!

That's too bad.

Follow-up Questions

(Questions about an answer)

A: What did you do last night?

B: I watched a movie on TV.

A: (Rejoinder and Follow-up) I see.

What movie did you watch?

Format: Triads – Student A, page 1; Student C, page 133

p. 133

Unit 1 • Student C

Rejoinders

I see.

Oh, yeah?

Really?

That's great!

That's too bad.

Follow-up Questions

(Questions about an answer)

A: What did you do last night?

B: I watched a movie on TV.

A: (Rejoinder and Follow-up) I see.

What movie did you watch?

Format: Triads – Student A, page 1; Student B, page 67

いずれの場合も、冒頭の構成は p. 1 Student A と変わりません。Student B, Student C とともに、p. 1 Student A の情報を参照しなくてすむように同じ情報が与えられています。

ふたたび、p. 1 Student A に戻ります。テキストを用いてすべきことが記されています。

Before the discussion

- (1) *Silently* complete the questions below.
- (2) Write two more questions about any topic.

Discussion Directions

- (1) Ask *both* of your partners your discussion questions.
- (2) After they answer, ask **follow-up questions** and use **rejoinders**.
- (3) Take turns. You begin with discussion question #1. Student B asks #2, then Student C asks #3, and you continue.
- (4) Answer your partners' questions *with details*.

p. 67 Student B, p. 133 Student C でもほぼ同じ記述があります。Before the discussion（討論を始める前に）のセクションでは、（1）後続する穴埋め問題の Discussion Questions（討論するための質問）を完成し、（2）好きなトピックで質問を作成する、ように指示しています。

次の Discussion Directions（討論をどう行うか）はこのユニットの討論の進め方を解説しています。

- (1) 自分以外の 2 人に討論のための質問を下さい
- (2) 2 人が質問に答えたら、follow-up question を質問しその答えに rejoinder を用いて応答します。
- (3) まず #1 の質問から始めます。次に Student B が #2、Student C は #3、もどって Student A のように質問続けます。
- (4) パートナーの質問には detail（具体的な事実）を示して答えます。

この中の（3）は Student A の記述で、Student B, Student C のセクションでは、それぞれの役割に応じて異なる情報が示されています。

引き続き Student A が行う discussion question がリストされています。1 の次が 4 となっているのは、この間に Student B の 2, Student C の 3 の質問が入るからです。空所に入れる表現は、学習者自身が自由に作文するものとなっていて、特定の正解はありません。

Discussion Questions

1. Did you _____ yesterday?
4. When you were in high school, did you ever _____ ?
7. Have you ever _____ ?
10. What are some good points about _____ ?
13. Was anyone in your family ever a victim of a crime (e.g.,robbed by a thief)? [Note: "e.g." is an academic abbreviation meaning "for example."]
16. Which would you prefer to visit, a museum, a park, or a zoo?
19. _____ ?
22. _____ ?

Note: Follow-up questions frequently use WH-questions.

What movie?	Where did you see it?
Who was in it?	Why did you choose that one?
What did you think of it?	How long was it?
How often do you go to the movies?	

Note の枠内には、follow-up question の例が挙げられています。パートナーの答えに follow-up question を行う際のヒントとなります。

活動をさらに広げる

活動を終わらせたり、ほぼ終わりそうなグループがいくつか出たりしたら、「活動やめ」と声をかけます。この時点で時間的に余裕があり、学習者が高い関心を示し活動をさらに続けたそうなら、本書には具体的な指示は記されていませんが、教師が自分なりに考えた方法で討論をさらに発展させます。例えば、全学習者の役割パートを変更し、新たにグループ分けを行い、reaction question (意見や聞き手の体験といった個人的な**反応を尋ねる質問**) だけで討論を行います。以前とは違うメンバーに、以前と同じ反応を尋ねる質問をします。以前と異なる答えが返ってくるだけに、この質問はより興味深いものとなります。クラス全体に反応を尋ねる質問を行い討論してもよいでしょう。

評価

学習者が自分もしくは所属するグループの討論の行い方や進歩を評価する際、教師は facilitator (進行役) として、この学習者による評価活動がうまくいくように、意見が出るように促したり、話を整理したりします。これは重要な教師の役割です。授業の最後の5分間を使って、「討論のための討論」をクラス全体で行います。この時、個々の生徒に当日の討論についてフィードバックを与えてもよいでしょう。

本書の巻末に、「討論の評価表」があります。評価表をどのように使うかは教師が自由に決めてかまいません。いくつかの討論が同時に進行しているので現実的ではないものの、項目を記入して、学習者1人ひとりに渡してもよいでしょう。あるいは、毎回の授業で、1~2人の生徒に注目し、記入した評価表を渡し、短く個別面談指導を行う際の基礎資料とします。発想を変えて学習者の自己評価やパートナーの評価に使うこともできます。評価は一定回数授業が終わってから行ったり、特定の unit の後で行ったりしてもよいでしょう。例えば、6, 10 もしくは 11, 14, 17, 21, 24, 28 といった unit は、それまでの unit での学習をまとめているので、評価に適しています。どのような form (記入用紙) にどのような format (書式) で記載するのであれば、教師は、学習者が適切に自身の現在の状況について評価し、スキルの広がりとその進歩を把握できるよう支援します。スキルの広がりとその進歩の把握は、学習者の自信と専門性を高める、重要な2つの側面です。

課題を早めに終えた学習グループの扱い

他のグループよりも極端に早く活動を終えたグループがあった時には、以下の3つから活動を選びます：
a. 役割を変えて reaction question を再度行う、b. 好きなトピックを選び英語で討論する、c. 活動をやめて休憩する。

注意を要する unit

Unit 1 からのすべての unit において、討論が活発になるような質問を学習者にしています。質問の多くは学習者の個人的な意見や体験をクラスメートに話すよう促すものです。これは、controlled discussion (統制された討論) をよりリアルなものへと変えます。しかし、実際には学習者が体験したことのない体験について、したものと仮定して質問が行われると、学習者は答えられなくなってしまいます。学習者が困惑して答えられずにいると、クラス全体が討論することに価値を見出せなくなります。このため、次のような strategy をあらかじめ指導しておきます。「質問が自分に当てはまらなかったら何と言ったらよいでしょう。『わかりません』とやさしく言って、なぜわからないのか理由を説明します。例えば、次のように答えます。A: Do you have to work hard in college? (大学の勉強は大変ですか?) B: I'm sorry, I don't know. I'm still in high school. (ごめんなさい、わかりません。まだ高校生なので)」

Unit 3 は、新聞記事をトピックとする最初の unit です。このため、学習者には、十分な討論が行えるようしっかりと記事を読まなければならない、と念を押しておきます。記事の中にはきっと意味のわからない単語があります。本書で語彙学習にはあまり重きを置いていませんが、自信を持ってトピックの討論ができるように、辞書で定義を調べたり質問したりする時間を取ります。大なり小なり、記事の本文がきちんと理解できるよう指導します。

Unit 6 は、DISCUSSION (討論) と目次に記された本格的な討論を行う最初の unit です。この unit の目的を学習者が把握しているか確認します。unit 6 を含み、その後の DISCUSSION ではこれまで学習したさまざまな strategy を実際に使ってみます。たとえば unit 6 では、1 から 5 の unit で学んだ、rejoinder (短い応答)、follow-up question (質問の答えに対して行う質問)、clarification question (理解が正しいかはっきりさせる質問)、comprehension check (相手の理解を確認する)、answering with details (具体的な事実を示して答える) といった strategy を意識してできるだけ使うようにします。

Unit 16 は、5人で構成される「小グループ」ならではのほかの unit にはない指示があります。(状況に応じて4人や6人でグループを作っても問題ありません。) ここでも、すべてのグループがどのような活動を行うのか十分に理解させます。他のグループが観察できるよう、5人組を1つ選び、教室内を歩いて活動の手順をモデルとして提示してもよいでしょう。

Unit 28 は、特別な unit で、学習したすべての strategy を復習して練習します。この unit には、学習者の基本的な討論の strategy の学習の進捗状況が評価できるよう、学習したすべての strategy がリストされています。ここで行う、1) 親友、2) テレビによってもたらされるもの、3) 体罰、という3つの討論について、いくつかをビデオ録画しておく、このまとめ unit を効果的に振り返ることができます。

Unit 29 は、力のある学習者が1~2名いればまかせることもできますが、教師がリードして行います。「大グループ/クラス全体」の討論を初めて行うので、リーダーがどのような役割を果たすのか教師がモデルを示します。そうすることで、学習者は集中して参加者の立場で討論に参加でき、同時にクラス全体で行う討論のリーダーを教師がどのように演じるかが観察できます。

Unit 30 - 39 は、大グループやクラス全体で行う討論です。ここでは学習者自身が討論をリードします。教師が学習者に好きな討論のトピックを選ばせることもできますが、トピックを提供する記事は、unit 30 から少しずつ長くなります。このことを念頭に置いて、慎重に行動する学習者にはより短い記事を、すばやい対応が可能であったり、より難しい討論を希望したりする学習者には長めの記事を割り当ててもよいでしょう。

教師の役割

本書では、どの unit も学習者がテキストに基づいて学習を開始してからは、教師が追加の説明をする必要はほとんどありません。とは言え、せつかくの授業時間ですから、グループの間を歩いて討論に耳を傾け、上手に活動できている人とそうでない人を確認します。こうして集めた情報をもとに必要な際に、追加で「こうしなさい」と指導したり、「こうするともっとうまくいく」と支援したり、「がんばれ」と背中を押したりします。また、生徒の努力を認識し称賛する際の根拠となります。

討論の評価表

学習者を個別に評価する際に記入します。このページはコピー可能です。

Name _____

Date _____

Unit(s) _____

Discussion Evaluation

I heard you:

I didn't hear you:

Use rejoinders

Ask follow-up questions

Ask for clarification

Use comprehension checks

Answer with details

Interrupt someone
appropriately

Re-tell information

Volunteer an answer

Re-tell others' opinions

Help the leader

Express an opinion

Refer to a source

As a discussion leader:

You seemed to be _____ prepared.

- a) very well b) well c) somewhat d) not

You _____ tried to get all the members to speak.

- a) often b) sometimes c) rarely

You _____ explained well if a member didn't understand.

- a) often b) sometimes c) rarely

You _____ asked follow-up questions about members' answers.

- a) often b) sometimes c) rarely

I think you should work on _____.

220 • This form is photocopyable.

Discussion Strategies

<p>General Structure of the Book</p> <p>First Section, for Student A 1</p> <p>Second Section, for Student B 67</p> <p>Third Section, for Students C, D, and E 133</p> <p>Fourth Section, Whole-Class Discussions 191</p> <p>Discussion Strategies by Unit</p> <p>Unit 1. Rejoinders and Follow-up Questions 11A, 67B, 133c*</p> <p>Format: Triads</p> <p>Unit 2. Clarification Expressions 2A, 68B</p> <p>Format: Pairs</p> <p>Unit 3. Clarification Questions, I 3A, 69B and omprehension Checks</p> <p>Format: Pairs</p> <p>Topics: Flight Attendant Hero Lost in a Jungle</p> <p>Unit 4. Clarification Questions, II 6A, 72B</p> <p>Format: Pairs</p> <p>Topics: Giant Baby Music, Reading and Math</p> <p>Unit 5. Answering with Details 9A, 75B, 134c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Unit 6. DISCUSSION 11A, 77B, 135c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Your High School Days</p> <p>Unit 7. Paragraph Clarifications, I 12A, 78B, 137c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Animals in Movies</p> <p>Unit 8. Paragraph Clarifications, II 14A, SOB, 139c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Sleep</p> <p>Unit 9. Asking for More Details 16A, 82B, 141c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Unit 10. Discussion 17A, 83B, 142c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Stress</p> <p>Unit 11. DISCUSSION 21A, 87B, 145c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Your Hometown and Childhood Home</p> <p>Unit 12. Interrupting Someone 22A, 88B, 146c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Telling Lies</p> <p>Unit 13. Words That Describe 25A, 91B, 149c</p>	<p>本書の全般的な構成</p> <p>第一部、student A</p> <p>第二部、student B</p> <p>第三部、student C、D、E</p> <p>第四部、クラス全体の討論</p> <p>ユニットに登場する方略</p> <p>ユニット 1. 短い応答と質問の答えに対して行う質問</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>ユニット 2. 理解が正しいかはっきりさせる表現</p> <p>討論形式: ペア</p> <p>ユニット 3. 理解が正しいかはっきりさせる質問 I 相手の理解を確認する</p> <p>討論形式: ペア</p> <p>トピック: 客室乗務員の奇跡 ジャングルで遭難する</p> <p>ユニット 4. 理解が正しいかはっきりさせる質問 II</p> <p>討論形式: ペア</p> <p>トピック: とてつもなく大きい赤ちゃん 音楽、読解、数学</p> <p>ユニット 5. 具体的な事実を示して答える</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>ユニット 6. 討論</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 自分の高校時代</p> <p>ユニット 7. パラグラフ単位で理解が正しいかはっきりさせる I</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 映画の中の動物</p> <p>ユニット 8. パラグラフ単位で理解が正しいかはっきりさせる II</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 睡眠</p> <p>ユニット 9. もっと詳しく説明してもらおう</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>ユニット 10. 討論</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: ストレス</p> <p>ユニット 11. 討論</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 自分の生まれた町と子どものころの家</p> <p>ユニット 12. 人の話をさえぎる</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 嘘をつく</p> <p>ユニット 13. 物を記述する単語</p>
--	---

<p>Format: Triads</p> <p>Unit 14. DISCUSSION 27A, 93B, 151c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Superstitions</p> <p>Unit 15. Telling What You've Heard 29A, 95B 153c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topics: Short People Live Longer Gossiping Why the French Have Fewer Heart Attacks</p> <p>Unit 16. Volunteering an Answer 32A, 98B, 156c, 157D, 158E</p> <p>Format: Small Groups</p> <p>Unit 17. DISCUSSION 33A, 99B, 159c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Divorce</p> <p>Unit 18. Clarifying by Summarizing, I 36A, 102B</p> <p>Format: Pairs</p> <p>Topics: Getting Fat Wrong Stadium Bugs in Manila Naked in the Laundromat</p> <p>Unit 19. Clarifying by Summarizing, II 40A, 105B, 162c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Catching Colds</p> <p>Unit 20. Telling Other People's Opinions and Experiences 42A, 107B, 164c, 166D</p> <p>Format: Small Groups</p> <p>Unit 21. DISCUSSION 44A, 109B, 168c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Driving</p> <p>Unit 22. Helping the Leader Explain, I 47A, 112B, 171c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Unit 23. Helping the Leader Explain, II 49A, 114B, 173c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topics: Fathers Who Live Longer Smoking and Aging Tasting Food</p> <p>Unit 24. DISCUSSION 52A, 117B, 176c</p> <p>Format: Triads</p> <p>Topic: Gambling</p> <p>Unit 25. Expressing Opinions, I 55A, 120B</p> <p>Format: Pairs</p>	<p>討論形式: 3人組</p> <p>ユニット 14. 人の話をさえぎる</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 迷信</p> <p>ユニット 15. 聞いたことを伝える</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 身長の高い人は寿命が長い うわさ話をする フランス人に心臓まひが少ない理由</p> <p>ユニット 16. 進んで質問に答える</p> <p>討論形式: 小グループ</p> <p>ユニット 17. 討論</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 離婚</p> <p>ユニット 18. 要約を通じて理解が正しいかはっきりさせる I</p> <p>討論形式: ペア</p> <p>トピック: 太る スタジアムを間違えた マニラの虫 コインランドリーで裸に</p> <p>ユニット 19. 相手のことばを要約して自分の理解が正しいかはっきりさせる II</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: かぜをひく</p> <p>ユニット 20. 他人の意見や体験を話す</p> <p>討論形式: 小グループ</p> <p>ユニット 21. 討論</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: 自動車の運転</p> <p>ユニット 22. 討論のリーダーに代わって説明する I</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>ユニット 23. 討論のリーダーに代わって説明する II</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: より長生きな父親 喫煙と老化 食べ物の味</p> <p>ユニット 24. 討論</p> <p>討論形式: 3人組</p> <p>トピック: ギャンブル</p> <p>ユニット 25. 意見を述べる I</p> <p>討論形式: ペア</p>
--	---

<p>Topic: Information from a Survey Unit 26. Expressing Opinions, II 58A,123B, 179c, 182D Format: Small Groups Topics: The Rights of Mothers and Fathers Death Caused by Cigarettes De-barking Dogs 63-Year-Old Woman Has a Baby Unit 27. Referring to a Source 61A, 126B, 185c Format: Triads Topic: Bullying Unit 28. SUMMARY DISCUSSION 64A. 129B, 187c Format: Triads Topics: Best Friends The Effects of Watching TV Spanking</p>	<p>トピック: アンケートからわかること ユニット 26. 意見を述べる II 討論形式: 小グループ トピック: 父親と母親の権利 喫煙がもたらす死 犬の無駄吠えを防止する声帯削除手術 63歳で妊娠した女性 ユニット 27. 他人の発言に言及する 討論形式: 3人組 トピック: いじめ ユニット 28. 学習全体を振り返り、学んだ方略をできるだけ用いて討論する 討論形式: 3人組 トピック: 親友 テレビによってもたらされること 体罰</p>
<p>For Teachers Unit 29. LEADING A DISCUSSION 191 Format: A Model, Teacher-led Whole-Class Discussion Topic: Cheating in School</p>	<p>教師向け情報 ユニット 29. 討論をリードする 討論形式: 教師がリードするクラス全体討論のモデル トピック: カンニング</p>
<p>For Students Instructions for Students on Leading a Discussion 194 Unit 30. LEADING A DISCUSSION 1 Format: Large Groups/Whole Class Topic: Animal Empathy Unit 31. LEADING A DISCUSSION 198 Format: Large Groups/Whole Class Topic: Cafeteria Trays Unit 32. LEADING A DISCUSSION 200 Format: Large Groups/Whole Class Topic: TV in the Bedroom Unit 33. LEADING A DISCUSSION 202 Format: Large Groups/Whole Class Topic: Culture and Alcoholism Unit 34. LEADING A DISCUSSION 204 Format: Large Groups/Whole Class Topic: Boredom Unit 35. LEADING A DISCUSSION 206 Format: Large Groups/Whole Class Topic: Keys to Happiness Unit 36. LEADING A DISCUSSION 208</p>	<p>学習者向け情報 学習者が討論をリードする際にすべきこと ユニット 30. 討論をリードする 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: 動物による人の心の理解 ユニット 31. 討論をリードする 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: カフェテリアのトレイ ユニット 32. 討論をリードする 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: 寝室のテレビ ユニット 33. 討論をリードする 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: 文化とアルコール ユニット 34. 討論をリードする 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: することがなく退屈 ユニット 35. 討論をリードする 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: 幸福への鍵 ユニット 36. 討論をリードする</p>

<p>Format: Large Groups/Whole Class Topic: The Clown and the Cell Phones Unit 37. LEADING A DISCUSSION 210 Format: Large Groups/Whole Class Topic: Family Meals Unit 38. LEADING A DISCUSSION 212 Format: Large Groups/Whole Class Topic: International Students in the U.S. Unit 39. Designing and Leading Discussions Instructions for Students 214 Format: Large Groups/Whole Class Topic: Students' Choice</p> <p>Suggestions to the Teacher General 215 Why these activities were developed 215 The approach and sequence 215 Setting up discussion groups 216 Getting started 216 Extending the activities 217 Evaluating 217 Dealing with early finishers 217 Special Notes on Specific Units 218 The Teacher's Role 219 Discussion Evaluation form 220</p>	<p>討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: ピエロと携帯電話 ユニット 37. 討論をリードする 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: 家庭での食事 ユニット 38. 討論をリードする 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: アメリカの留学生 ユニット 39. 討論をデザインしリードする 学習者がすべきこと 討論形式: 大グループ / クラス全体討論 トピック: 学習者が自由に選択する</p> <p>教師への提案 まず知っていただきたいこと 本書の活動が作られた理由 活動の取り組み方と順序 討論のグループを作る 討論を始める 活動を展開する 評価する 課題を早めに終えてしまう学習グループの扱い 注意を要するユニット 教師の役割 討論の評価表</p>
---	---

渡辺雅仁

横浜国立大学 国際戦略推進機構 基盤教育部門 英語教育部 教授

- 【著書】 ランゲージアーツ ―学校・教科・生徒をつなぐ6つの言語技術 2016年07月
翻訳 玉川大学出版部
- 【著書】 アメリカンキッズ えいご絵じてん 2011年07月
翻訳 玉川大学出版部
- 【著書】 マーフィーのケンブリッジ英文法(中級編) 2010年11月
翻訳 ケンブリッジ大学出版局
- 【著書】 マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編) 2011年11月
翻訳 ケンブリッジ大学出版局
- 【著書】 イラストで楽習 英語のツボを掴むアメリカンイディオム101 2009年10月
翻訳 南雲堂フェニックス